

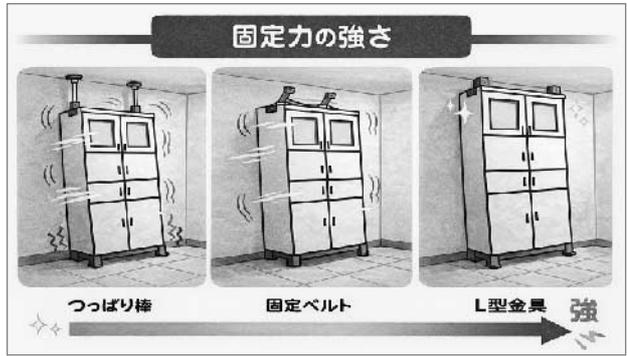
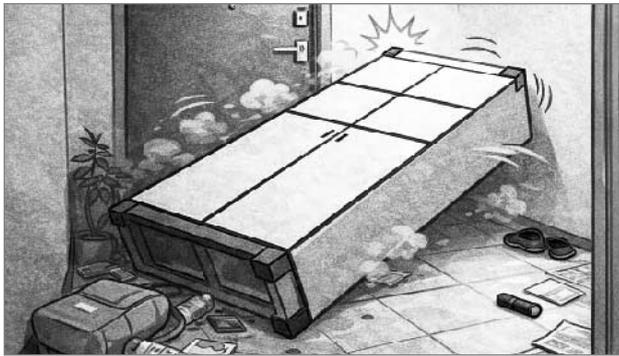
家具転倒防止対策はしていますか

大地震発生時に、建物の中でけがをした人の内、半分近くが「家具の転倒や落下が原因」であったという調査結果があります。家具の転倒を防止することによって、この方々が「けがをしなくて済んだ」ということです。

「阪神淡路大震災の時、タンスの上から落ちてきた衣装箱を両手と頭で支え、家族を守ってくれた父の姿を思い出しますが、家具転倒・落下防止をしていれば良かったのだと、31年経った今、改めて感じています」(被災した職員談)

また、けがだけではなく、大型家具の転倒によって避難の動線が塞がれてしまえば、逃げることができなくなることも十分に考えられます。

今一度、ご自宅の点検をお願いします。町の補助事業につきましては、改めてお知らせします。



令和8年5月から防災気象情報が新しくなります

国土交通省水管理・国土保全局と気象庁は、5月下旬(予定)から新たな防災気象情報の運用を開始します。

この新たな防災気象情報では、河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮の警報などを、避難行動に対応した5段階の警戒レベルと整合させ、災害発生の危険度に応じたレベルの数字を名称に含めて発表します。レベル5に相当する河川氾濫の特別警報や警戒レベル4に相当する危険警報も新たに開始するなど、現行の大雨警報・注意報などが大きく変わります。

レベル3警報やレベル4危険警報が発表されたら、自治体からの避難指示などに十分留意いただくとともに、大雨で危険度が高まった地域が地図で表示される「キキクル(※)」や河川の水位情報を参照して、危険な場所にいる方は早めの避難を心がけてください。

気象庁ホームページに設けた特設ページでは、新たな防災気象情報に関するさまざまな資料を掲載しています。これらの資料を参考に、情報が発表された際にどのような行動をとるか、ご家庭や企業・組織内であらかじめ決めていただくようお願いします。

※気象庁が提供する防災情報サービス

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			



気象庁ホームページ